

平成 25 年 2 月 8 日

既に認定された中皮腫症例の整理について（中間報告）

1. 概 要

平成 23 年 6 月の中央環境審議会答申「石綿健康被害救済制度の在り方について（二次答申）」において、中皮腫について、「救済制度の中で機構に集まる治療内容や生存期間の情報を活用しながら調査研究を行い、その結果を広く認定患者や、医療機関に対し、情報提供すべきである。」との提言がなされたところである。

本答申を踏まえ、中皮腫登録事業等の検討に当たり、「平成 24 年度石綿健康被害救済に係る医学的統合データベース構築等業務」として、平成 22 年度又は平成 23 年度に中皮腫で医療費の給付に係る認定を受けた症例約 1,000 件について、試行的にデータベース化を実施することとしたものである。

2. 中皮腫認定症例のデータベース化

2-1 調査の実施方法

平成 22 年度又は平成 23 年度の中皮腫認定症例 1,030 件について、石綿健康被害判定小委員会等の議事録、申請時に提出された医学的資料等をもとに、「中皮腫登録事業に係る登録シート（案）」に当該症例に係る情報を 1 件ごとに整理し、データベース化した上で集計を行った。なお、本報告は現時点での暫定値である。

2-2 集計結果

(1) 被認定者数

平成 22 年度及び平成 23 年度に中皮腫で医療費の給付に係る認定を受けた被認定者は、平成 22 年度は 533 人、平成 23 年度は 497 人であり、合計 1,030 人であった。

(2) 中皮腫部位別、性別、年齢階層別集計（表 1，図 1，2，3）

中皮腫被認定者について、その発症部位が胸膜の方 938 人、腹膜の方 74 人、その他の方 18 人（心膜、精巣漿膜ほか）であった。

性別は、男性 803 人、女性 227 人であった。男性の部位別内訳は、胸膜 749 人、腹膜 43 人、その他 11 人であり、女性の部位別内訳は、胸膜 189 人、腹膜 31 人、その他 7 人であった。

また、年齢別では、19 歳から 93 歳までの申請を受け付け、平均年齢は 67.9 歳であった。

<表1>中皮腫部位別、性別、年齢階層別集計

部位等 年齢	胸膜			腹膜			心膜			精巣鞘膜			複数部位、不明等			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
10-19	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
20-29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30-39	2	0	2	3	5	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	7	5	12
	0.2%	0.0%	0.2%	0.3%	0.5%	0.8%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	1.2%
40-49	20	9	29	4	3	7	0	1	1	0	0	0	0	1	1	24	14	38
	1.9%	0.9%	2.8%	0.4%	0.3%	0.7%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	2.3%	1.4%	3.7%
50-59	96	22	118	5	6	11	1	3	4	0	0	0	1	0	1	103	31	134
	9.3%	2.1%	11.5%	0.5%	0.6%	1.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	10.0%	3.0%	13.0%
60-69	287	48	335	22	9	31	0	1	1	2	0	2	3	0	3	314	58	372
	27.9%	4.7%	32.5%	2.1%	0.9%	3.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.3%	30.5%	5.6%	36.1%
70-79	268	73	341	8	4	12	0	1	1	0	0	0	2	0	2	278	78	356
	26.0%	7.1%	33.1%	0.8%	0.4%	1.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	27.0%	7.6%	34.6%
80-89	72	36	108	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	40	113
	7.0%	3.5%	10.5%	0.1%	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	3.9%	11.0%
90-99	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
計	749	189	938	43	31	74	3	6	9	2	0	2	6	1	7	803	227	1,030
	72.7%	18.3%	91.1%	4.2%	3.0%	7.2%	0.3%	0.6%	0.9%	0.2%	0.0%	0.2%	0.6%	0.1%	0.7%	78.0%	22.0%	100.0%

図1 中皮腫部位別分布

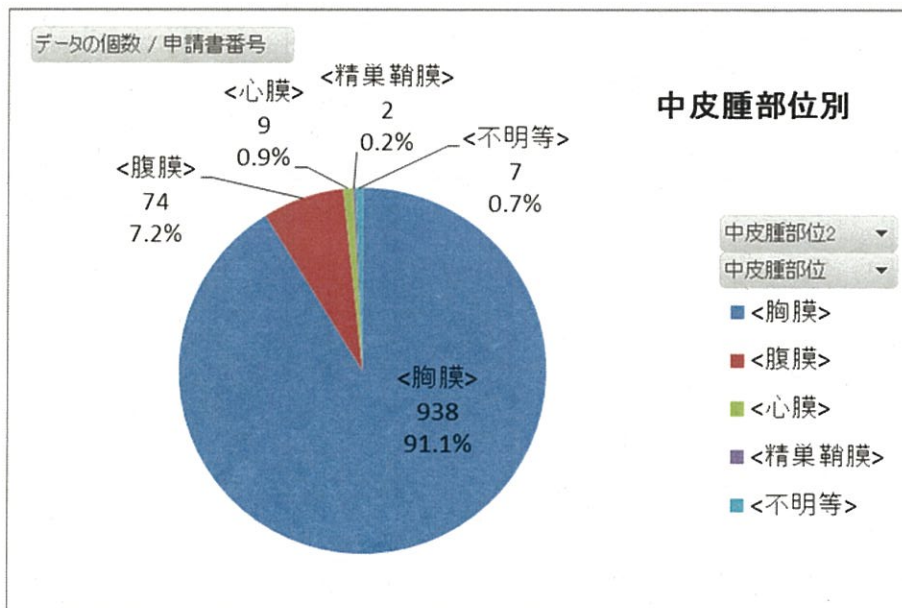


図2 性別分布

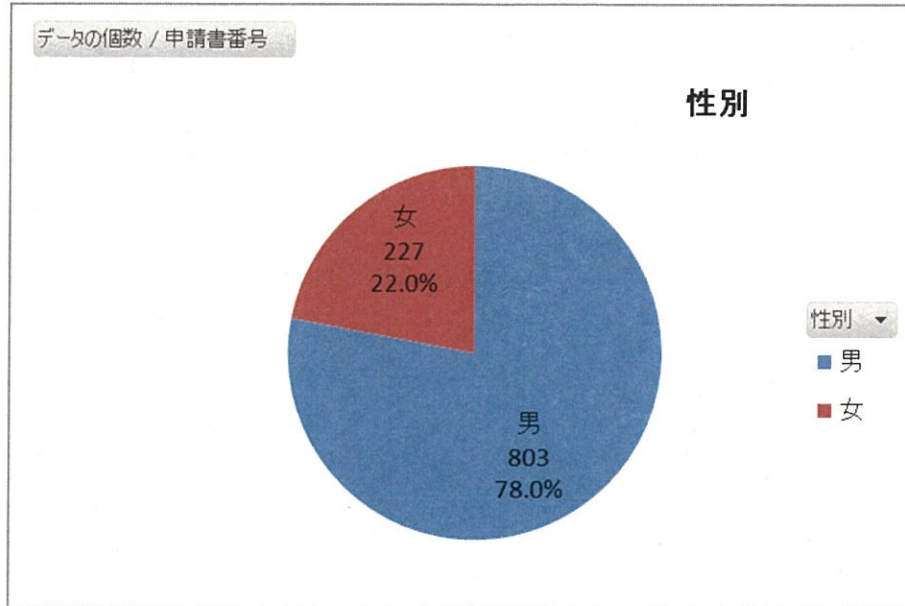
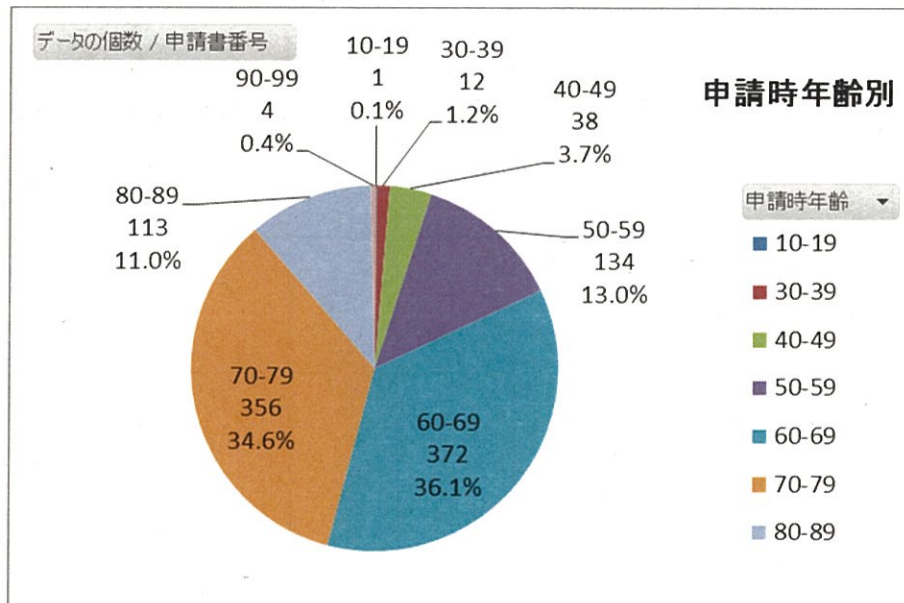
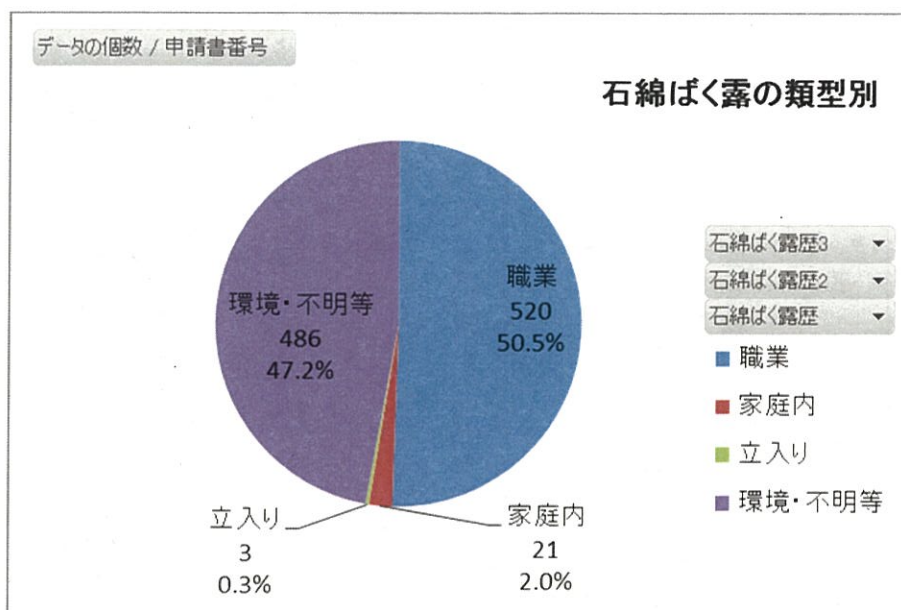


図3 申請時の年齢別分布



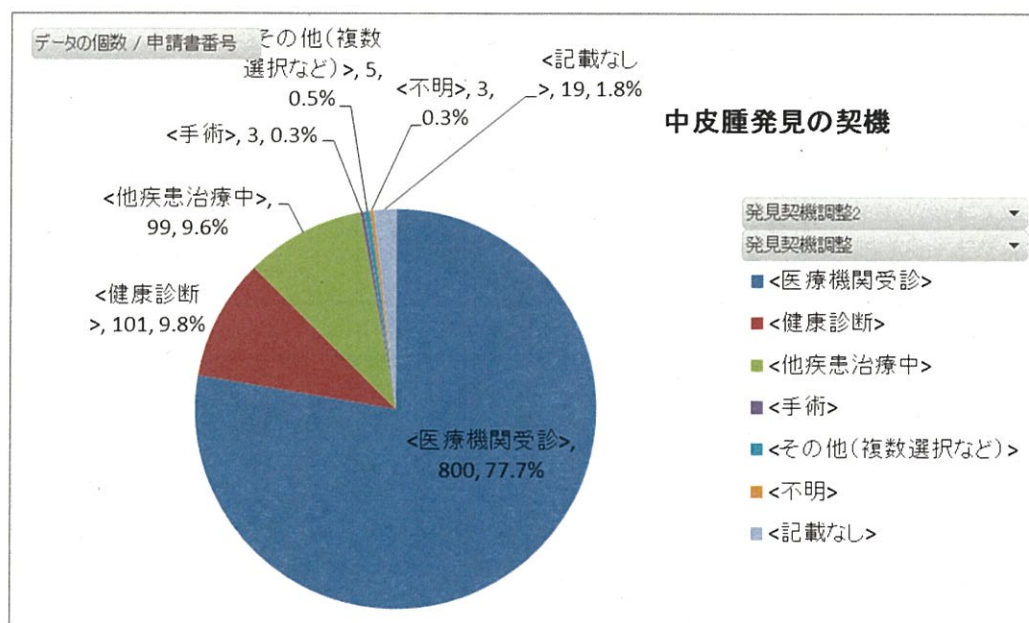
(3) 石綿ばく露の類型別

診断書等の内容から整理した石綿ばく露歴については、職業ばく露 520 人、家庭内ばく露 21 人、立入りばく露 3 人、環境ばく露と不明 486 人であった。



(4) 中皮腫発見の契機

中皮腫発見の契機については、医療機関での受診 800 人、健康診断 101 人、他疾患治療中 99 人、手術 3 人、その他 5 人、不明と記載なし 22 人であった。



(5) 中皮腫発見時の症状

中皮腫発見契機のうち、「医療機関受診」時の症状について、上位10位（注：複数選択可）では、息切れが289人、胸痛124人、せき91人、右胸水23人の順となり、呼吸器系の症状から発見されるケースが多い結果となった。

症状等	件数
〈息切れ〉	289
〈胸痛〉	124
〈せき〉	91
〈右胸水〉	23
〈息切れ〉 〈せき〉	17
〈発熱〉	16
〈背部痛〉	15
〈息切れ〉 〈胸痛〉	13
〈腹部膨満〉	13
〈左胸水〉	11

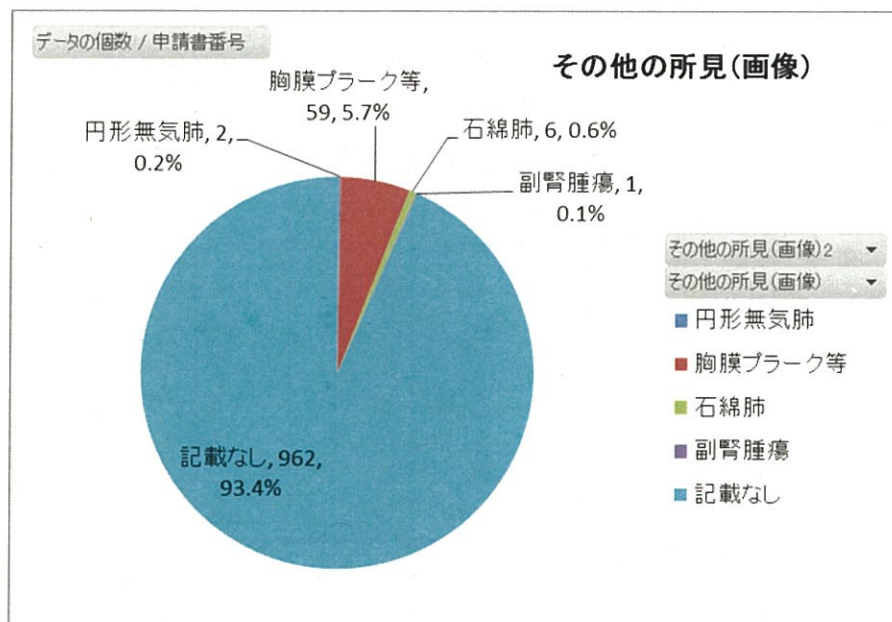
(6) 申請時における治療内容

治療内容について、上位10位（注：複数選択可）では、化学療法が598人、BSC（Best Supportive Care）138人、手術63人、手術と化学療法30人の順となり、化学療法が用いられているケースが多かった。

治療内容等	件数
〈化学療法〉	598
〈BSC〉	138
〈手術〉	63
〈手術〉〈化学療法〉	30
〈不明〉	26
〈放射線照射〉 〈化学療法〉	13
〈放射線照射〉 〈手術〉	7
〈放射線照射〉 〈手術〉 〈化学療法〉	7
〈放射線照射〉	7
〈化学療法〉 〈胸膜癒着術〉	4

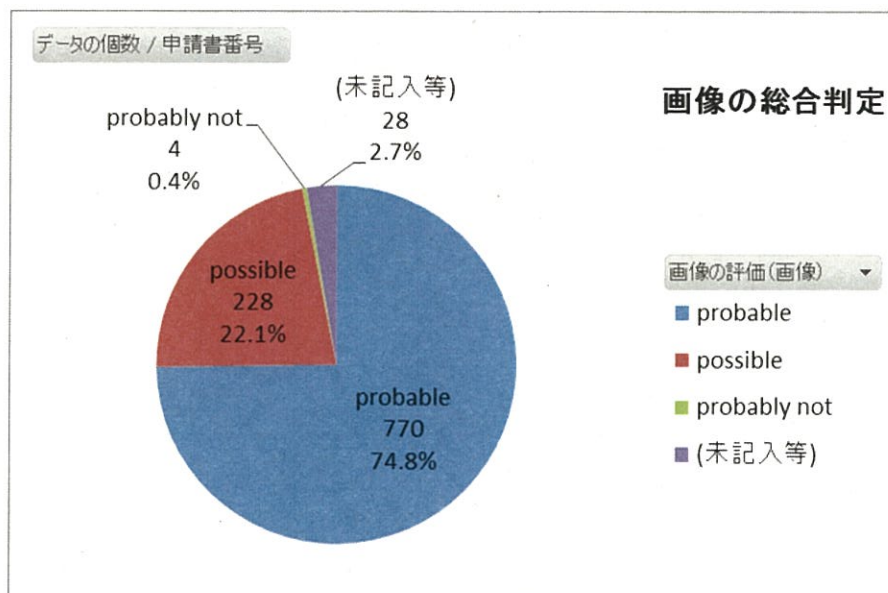
(7) その他の所見 (画像)

画像所見のうち、その他の所見の内訳は、胸膜プラーク等 59 人、石綿肺 6 人、円形無気肺 2 人、副腎腫瘍 1 人、記載なし 962 人であった。



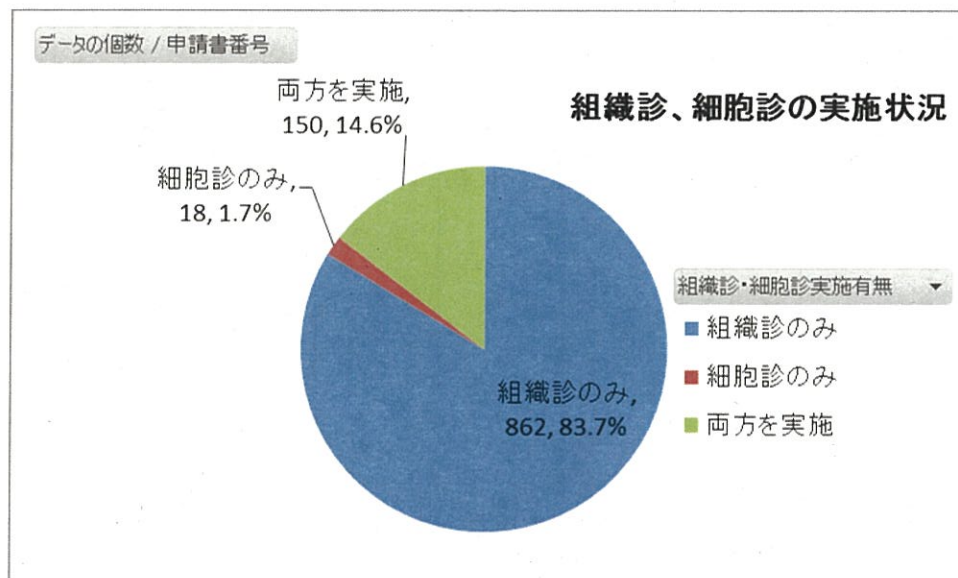
(8) 画像の総合判定

画像の評価として、中皮腫の確からしさについては、probable 770 人、possible 228 人、probably not 4 人であった。



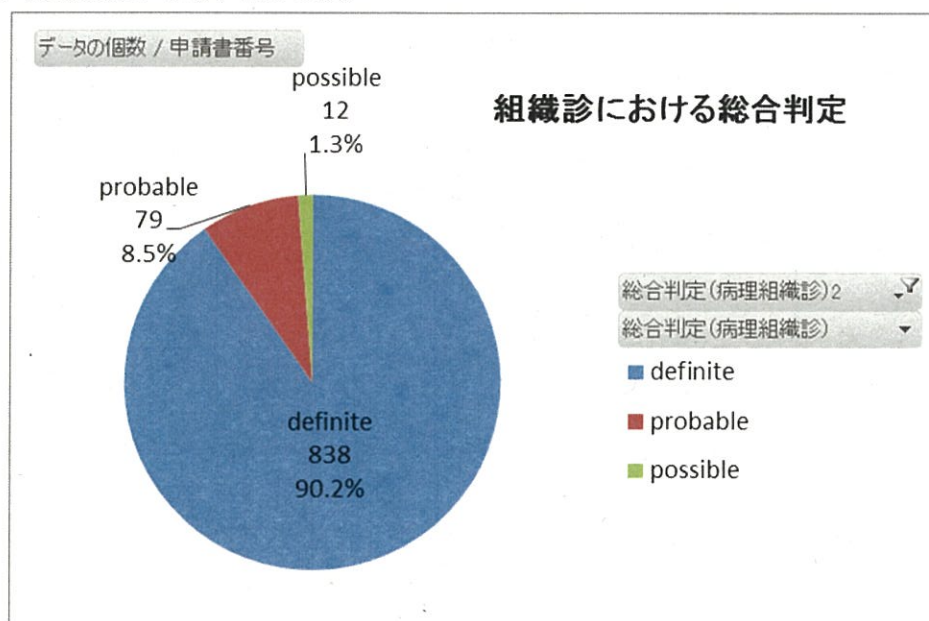
(9) 病理所見における組織診、細胞診の実施状況

病理所見における組織診、細胞診の実施状況については、組織診 862 人、細胞診 18 人、両方を実施 150 人であった。



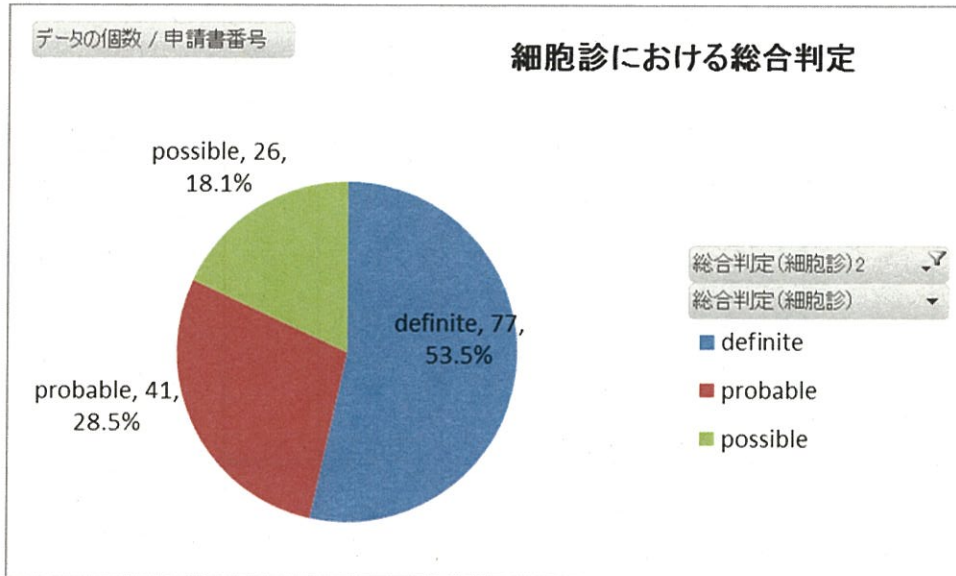
(10) 病理所見（組織診）における判定

病理所見のうち組織診における判定については、definite 838 人、probable 79 人、possible 12 人であった。



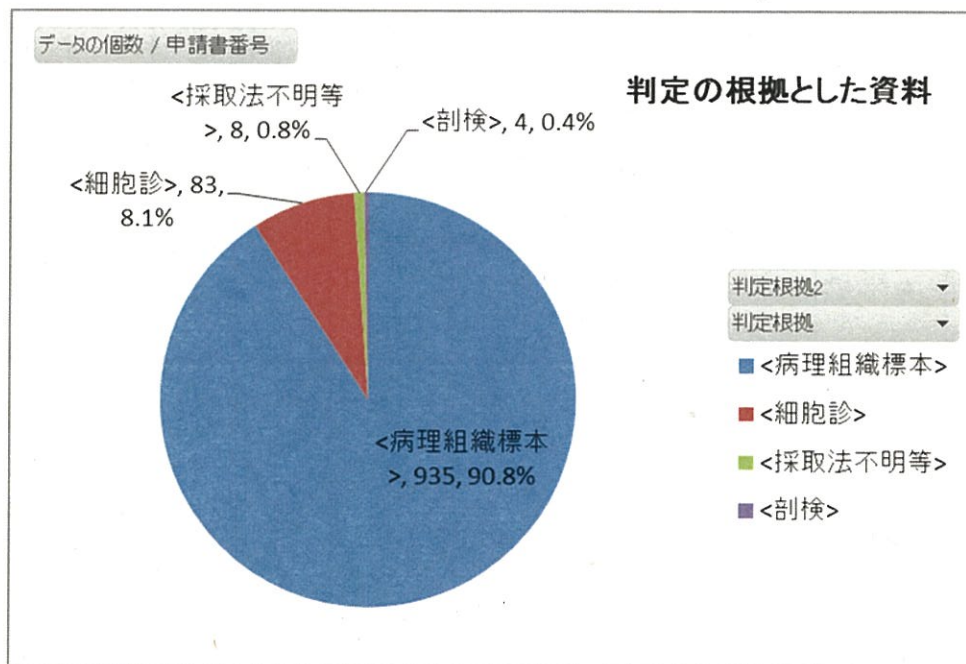
(1 1) 病理所見（細胞診）における判定

病理所見のうち細胞診における判定については、definite 77 人、probable 41 人、possible 26 人であった。



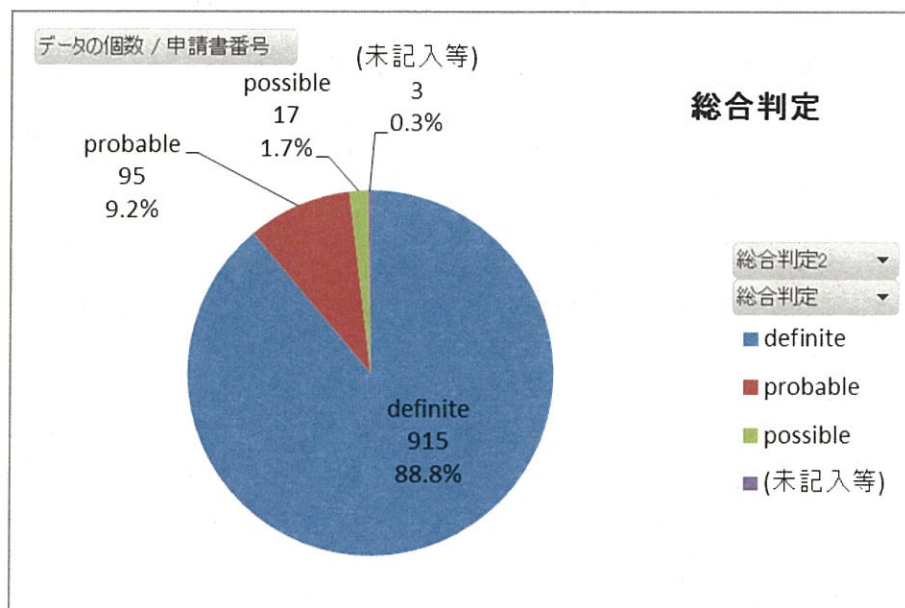
(1 2) 判定の根拠とした資料

総合判定において判定の根拠とした資料については、病理組織標本 935 人、細胞診 83 人、病理解剖 4 人、不明・未記入 8 人であった。



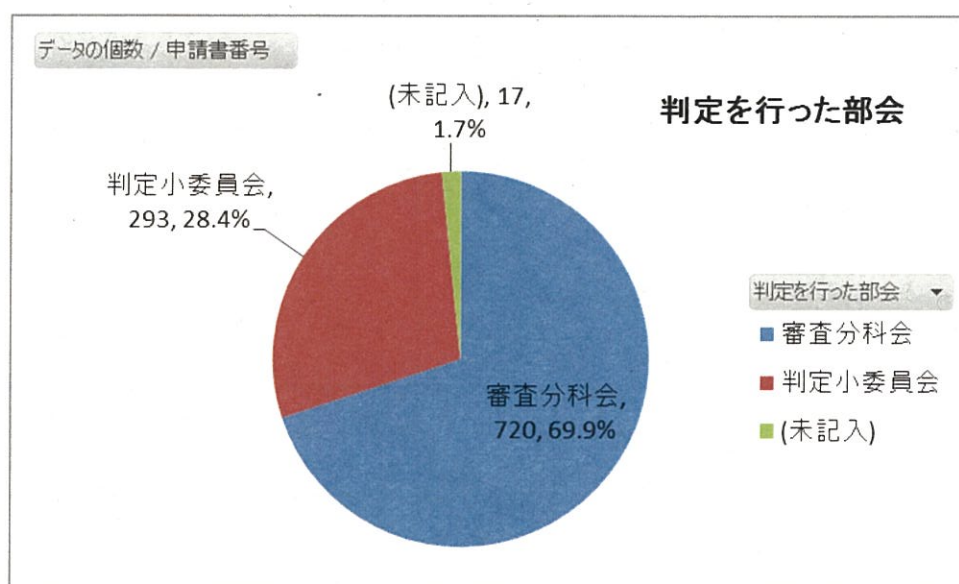
(13) 画像及び病理所見を踏まえた総合判定

画像及び病理所見を踏まえた総合判定については、definite 915 人、probable 95 人、possible 17 人であった。



(14) 判定を行った部会

判定を行った部会は、審査分科会 720 件、判定小委員会 293 件、未記入が 17 件であった。



(15) 組織型と予後

①確定診断日から死亡日までの期間

被認定者のうち死亡された566人について、確定診断日から死亡日までの期間をもとめ、組織診における組織型毎に整理した結果、上皮型の平均は348日、肉腫型の平均は185日、二相型の平均は310日となり、肉腫型の平均が低い結果となった。

組織型	確定診断～死亡(日)	件数
上皮型	1-30	8
	31-60	17
	61-90	13
	91-120	26
	121-150	20
	151-180	19
	181-210	22
	211-240	17
	241-270	14
	271-300	26
	301-330	15
	331-360	13
	361-390	18
	391-420	9
	421-450	12
	451-480	14
	481-510	9
	511-540	8
	541-570	7
	571-600	6
	601-630	9
	631-660	3
	661-690	2
	691-720	3
	721-750	2
	751-780	3
	781-810	1
	811-840	2
	841-870	1
	871-900	2
901-930	2	
931-960	2	
961-990	2	
991-1020	1	
1021-1050	2	
1711-1740	1	
1921-1950	1	
2551-2580	1	
4711-4740	1	
計		334
線維形成型	31-60	1
	61-90	3
	91-120	1
	121-150	5
	151-180	1
	181-210	1
	211-240	1
	241-270	1
	301-330	2
	451-480	1
601-630	1	
781-810	1	
計		19

組織型	確定診断～死亡(日)	件数
肉腫型	1-30	2
	31-60	10
	61-90	17
	91-120	11
	121-150	10
	151-180	17
	181-210	4
	211-240	5
	241-270	4
	271-300	5
	301-330	5
	331-360	2
	361-390	2
	391-420	1
	481-510	2
	601-630	1
	631-660	1
	661-690	1
	901-930	1
	計	
二相型	1-30	3
	31-60	6
	61-90	2
	91-120	6
	121-150	5
	151-180	6
	181-210	7
	211-240	11
	241-270	4
	271-300	9
	301-330	3
	331-360	6
	361-390	11
	391-420	4
	421-450	3
	451-480	4
	481-510	2
	511-540	1
	571-600	3
	601-630	2
631-660	1	
661-690	2	
691-720	1	
721-750	1	
751-780	1	
781-810	2	
871-900	1	
計		107
その他特殊型	1-30	1
	181-210	1
	211-240	1
	481-510	1
	541-570	1
計		5

②長期生存の主な症例

ア) 上皮型

女性 63 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	1999 年 1 月 12 日
発見契機	医療機関受診
治療	手術、化学療法
死亡日	2012 年 1 月 4 日
確定診断日～死亡日	4740 日
石綿ばく露歴	記載なし

イ) 上皮型

女性 47 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	2004 年 8 月 24 日
発見契機	医療機関受診 (息切れ)
治療	記載なし
死亡日	2011 年 9 月 12 日
確定診断日～死亡日	2575 日
石綿ばく露歴	不明

ウ) 上皮型

男性 63 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	2007 年 2 月 14 日
発見契機	医療機関受診 (せき)
治療	不明
死亡日	2012 年 6 月 10 日
確定診断日～死亡日	1943 日
石綿ばく露歴	不明

エ) 肉腫型

男性 57 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	2009 年 11 月 9 日
発見契機	健康診断
治療	化学療法
死亡日	2012 年 5 月 8 日
確定診断日～死亡日	911 日
石綿ばく露歴	職業ばく露 (造船 S43～S58)

オ) 二相型

女性 81 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	2009 年 8 月 27 日
発見契機	医療機関受診 (息切れ)
治療	化学療法
死亡日	2012 年 1 月 15 日
確定診断日～死亡日	871 日
石綿ばく露歴	不明

カ) 繊維形成型

男性 60 歳 (申請時)	
発生部位	胸膜
確定診断日	2009 年 6 月 15 日
発見契機	医療機関受診 (右胸水にて前医より)
治療	手術
死亡日	2011 年 8 月 9 日
確定診断日～死亡日	785 日
石綿ばく露歴	記載なし